

平成29年3月30日
 KKB鹿児島放送「かごとき」10:30~
 「愛甲孝の生活を豊かにする健康医学の最前線」
 【子宮頸がんの診断と治療】というテーマで
 鹿児島大学産婦人科教授 小林裕明先生が
 VTR出演いたしました。

KKB

ちょっと気になる、知って得する情報をお届けする番組イチ押しの特集。おすすめの気になる話題や、視聴者の方が知って良かったと思える情報が満載。グルメに温泉に生活情報など内容は盛りだくさんです！



■生活を豊かにする健康医学の最前線
 [3/30更新]

今日の特集は、毎月2回お伝えしている「愛甲孝の生活を豊かにする健康医学の最前線」。今回のテーマは【子宮頸がんの診断と治療】です。まずは、鹿児島大学病院で長年、子宮頸がんなど婦人科のがん治療に取り組む小林裕明教授を訪ねました。子宮頸がんの主な原因は「ヒトパピロー・・・」

続きはこちら

かごとき

生活を豊かにする健康医学の最前線 [2017年03月30日]

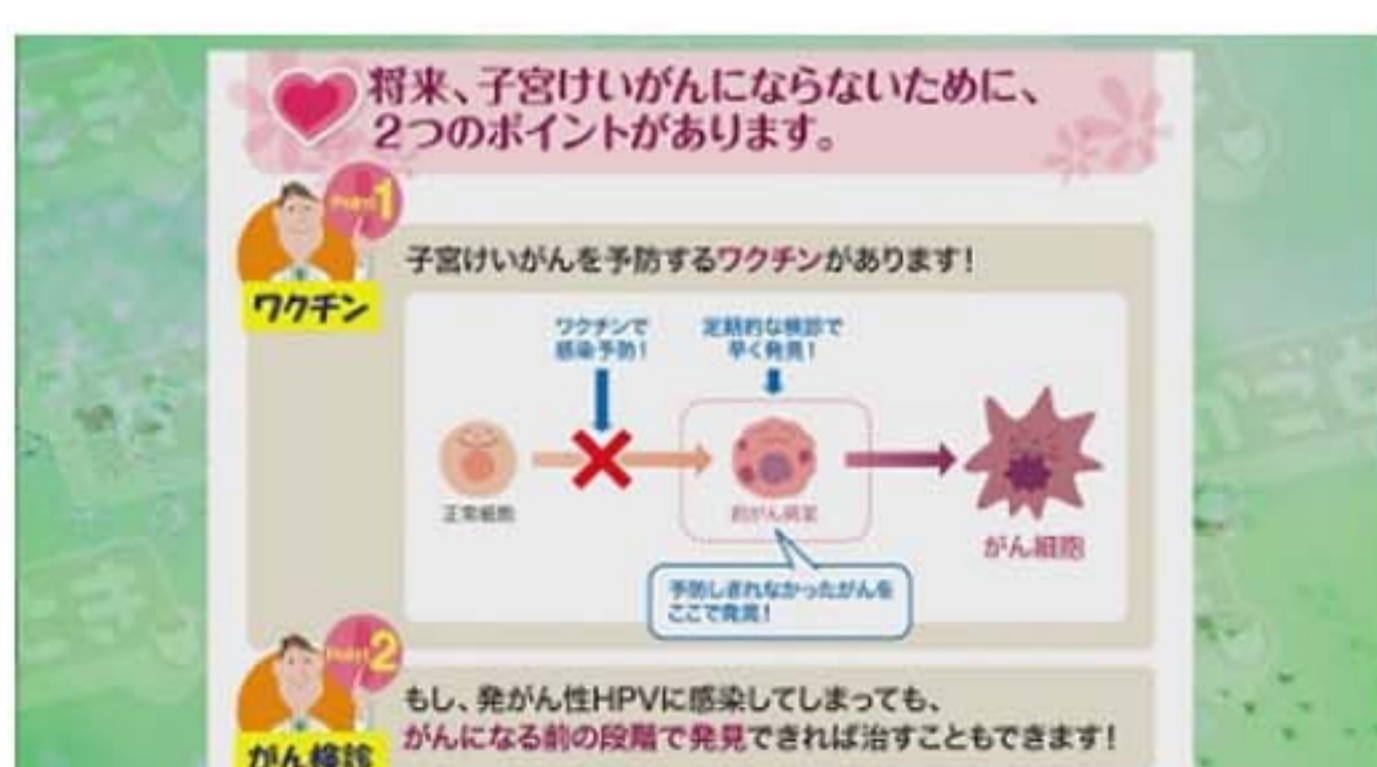
今日の特集は、毎月2回お伝えしている「愛甲孝の生活を豊かにする健康医学の最前線」。今回のテーマは【子宮頸がんの診断と治療】です。



まずは、鹿児島大学病院で長年、子宮頸がんなど婦人科のがん治療に取り組む小林裕明教授を訪ねました。



子宮頸がんの主な原因は「ヒトパピローウイルス(HPV)」で、年々、若い女性に増えてきたといえます。また、自覚症状がなく、がんに行進しても気づかないことが多いため、とても怖い病気だといえます。



予防法としては大きく2つのポイントがあり、「ワクチン」と「がん検診」だといえます。ワクチンで感染予防を行い、万一、発がん性HPVに感染してしまっても、がんになる前の段階で検診で発見できれば治すこともできるといえます。



かごとき

☆トップページ

カレンダー

前< 2017年03月 > 次

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



子宮頸がんの治療法としては、早期の1期でも標準治療は子宮の全摘出だといいますが、若い女性が子宮頸がんでは子宮を失うケースが非常に増えてきていることから、最近では子宮を全摘出しなくてもいい手術が出てきているということです。



中でも、最近よく聞かれるのが「ロボット手術」とい、体に優しい手術があるといえます。利点としては、がん手術が採決レベルの出血量でできることや、傷あとが小さいため痛みも少なく、すぐに社会復帰できることなどが挙げられるといえます。



小林教授をはじめ、子宮頸がんになる女性を少しでも減らそうと啓蒙活動が行われていて、4月9日の「子宮の日」に合わせて、鹿児島県医師会館で「おごじょプロジェクト2017LOVE49」というイベントが開催されます。子宮頸がんをテーマとした映画の上映や小林教授によるトークショーなどが行われる予定で、特に若い女性には参加してほしいということです。

次回は4月13日(木)、テーマは【がん治療 インフォームドコンセントとセカンドオピニオン】です。

リンク

→鹿児島放送

